

| | |
|----------|-----------------|
| 提案者(事業者) | 社会福祉法人 厚慈会 |
| 設計者 | 株式会社 レーモンド設計事務所 |
| 施工者 | 株式会社 安藤組 |
| 建設地 | 福島県伊達郡国見町小坂 3 |

竣工済につき
簡略版としています

竣工済

提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

- 平屋建て、約 5,520㎡の特別養護老人ホーム（100 床）を木造で計画する。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 施設の 90%以上を木造化する。
- 大空間を燃えしる設計を利用して製材で計画する。
- 福島県産材および地元産材の利用を推進する。

C. 提案のアピールポイント

- 製材を用いて大空間を計画する。
- 特別養護老人ホームの木造化への波及効果がある。



北側からの外観

評価の
ポイント



延べ面積 5,000㎡を超える大規模な特別養護老人ホームの計画。RC造の渡り廊下によって棟を分けることにより木造での建築を実現している。構造体に福島県産材および地元産材を積極的に採用するとともに、交流ホール等は燃えしる設計による躯体のあらわしとしており、木材の利用促進が見込まれる計画となっている。床面積が大きく木材使用量も多くなるが、個室で構成されるユニット棟においては一般流通材である住宅用製材を用いることによりコスト削減を図っている。大規模木造建築の実現可能性を示す事例として波及効果が期待される。

木造化・木質化の
取り組み
内容

先端性・先進性

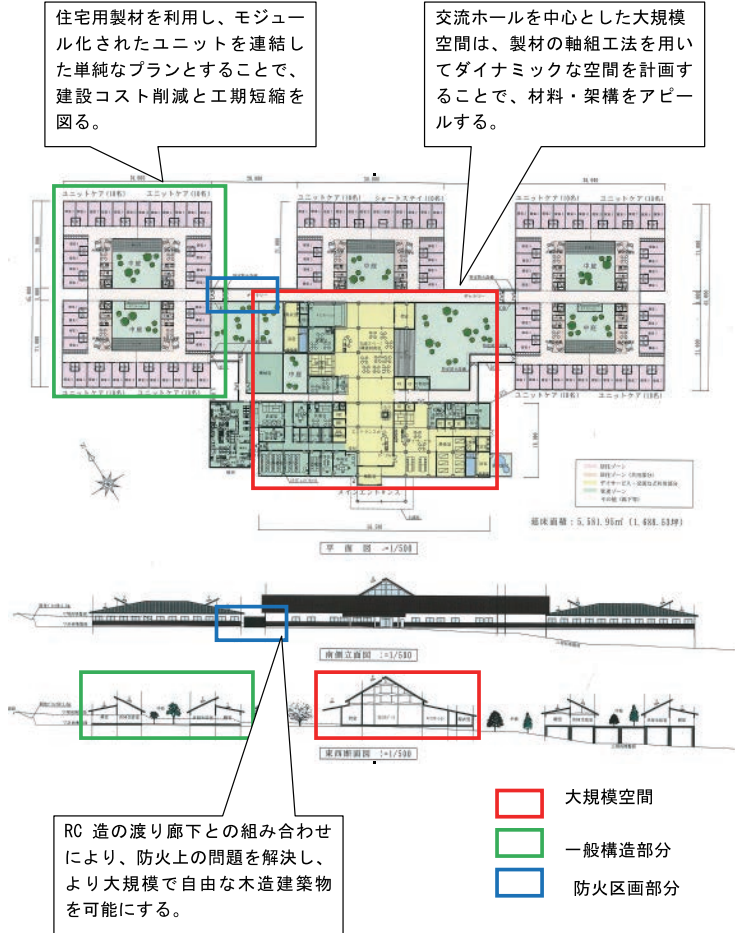
- 木造の特別養護老人ホームを実現するための防火面の課題に取り組む。
- 在来工法で製材を用いて燃えしる設計を行う。
- 建設コストの削減を図る。

波及性・普及性

- ユニットケアタイプの特別養護老人ホームへの適用が可能。
- 製材による大空間の構成により、他の用途の施設へも適用が可能。
- 躯体あらかわしとすることで、県産材および地元産材の利用促進につながる。

使用する木材、木質建材の特徴

- 構造体に福島県の県産材を使用する（大空間の梁には地元材の利用も検討）。



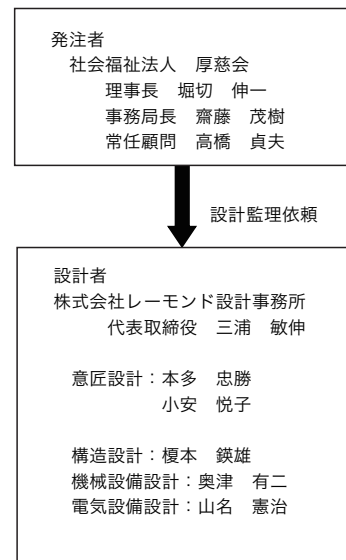
木造化・木質化の取り組み内容

プロジェクト
データ

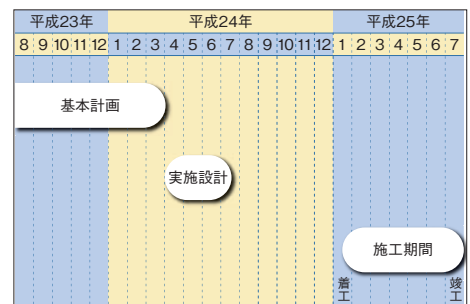


提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は扉頁参照
 建物名称：特別養護老人ホーム 国見の里
 建物用途：特別養護老人ホーム
 主要構造：■木造（ ■軸組構法 □桝組壁工法 □丸太組構法 □その他） □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他
 防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 □法 22 条区域 ■その他の地域
 耐火建築物等の要件：□耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） ■準耐火建築物（45分耐火） □その他の建築物
 敷地面積：20,416.27㎡
 建築面積：5,680.40㎡
 延べ面積：5,520.90㎡
 軒 高：2.70m
 最高の高さ：11.68m
 階 数：地上 1 階
 事業期間：平成 24 年度～平成 25 年度
 補助対象事業費：1,047,101 千円
 補助金額：33,330 千円

事業の実施体制



事業スケジュール



採択事例 **23** 特別養護老人ホーム国見の里

竣工報告



周囲を山に囲まれた丘陵地、田園に接して建つ北側からの全景



中庭に臨む大きな木のテラスのある居住棟は、1ユニット10名の生活単位10組で構成される



交流スペース（機能回復訓練室）の大空間



居住棟の中庭



交流スペースのメインステーション



ユニットケア 10名の共同生活室